

## 2. 被保険者・受給者の範囲を拡大した場合のイメージ

(被保険者)

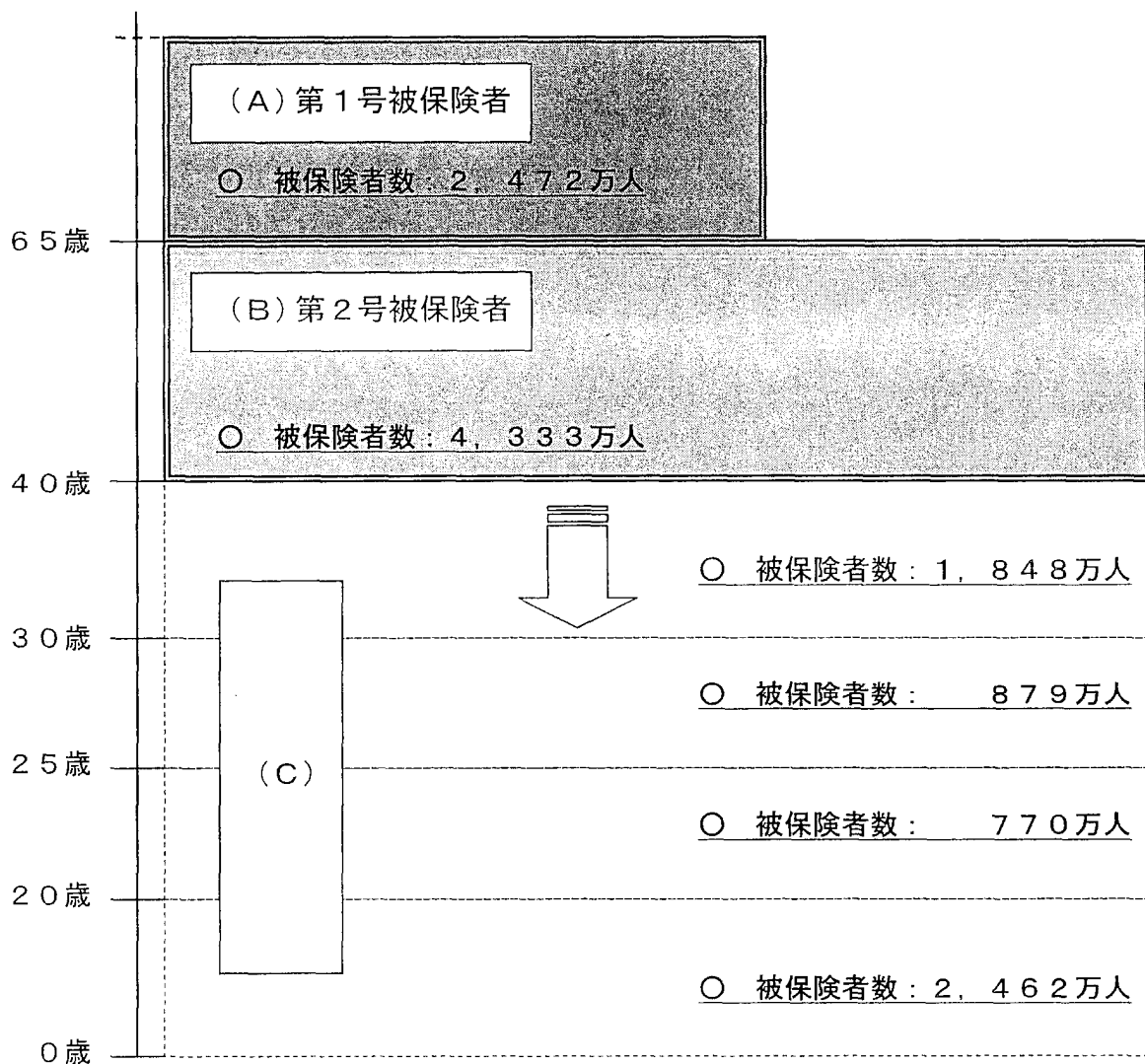
○ 現状

(A) 第1号被保険者 + (B) 第2号被保険者 = 6,805万人

○ 被保険者の範囲の拡大後

- ・仮に 0歳以上とすれば、 (A) + (B) + (C) = 12,764万人 (88%増)
- ・仮に20歳以上とすれば、 (A) + (B) + (C) = 10,302万人 (51%増)
- ・仮に25歳以上とすれば、 (A) + (B) + (C) = 9,532万人 (40%増)
- ・仮に30歳以上とすれば、 (A) + (B) + (C) = 8,653万人 (27%増)

※ ただし、特に若い層については、保険料負担の在り方について配慮が必要と考えられる。



※ 「被保険者数」については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」の中位推計における平成16年の推計人口による。

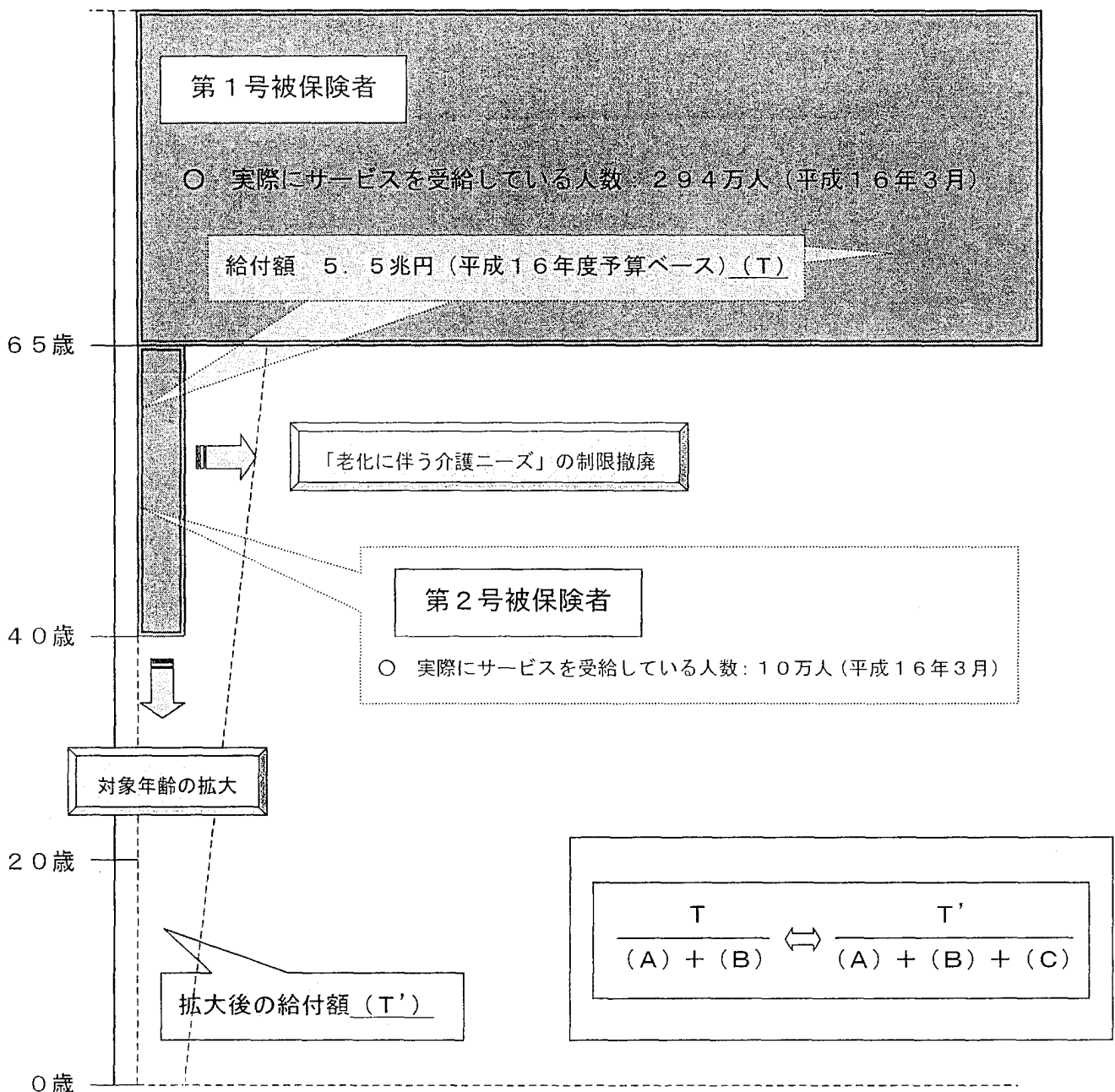
(受給者)

○ 現状

- ・実際にサービスを受給している人数：303万人（平成16年3月）
- ・保険給付額：5.5兆円（平成16年度予算ベース）(T)

○ 受給者の範囲の拡大後

- ・303万人に、若年の実際のサービス受給者数が加わる。
- ・5.5兆円に、若年の実際のサービス受給者への給付額が加わる。(T')



※ 「実際にサービスを受給している人数」については、介護保険事業状況報告（暫定）による。